月刊てらす画報　第69号

✿宝塚市内　雨水貯留施設設置工事✿

【当社の対応】

宝塚市の雨水貯留施設設置助成金を利用して設置しました。これでガーデニングの際の節水や災害時の非常用水としても利用できます。

施工前

施工後

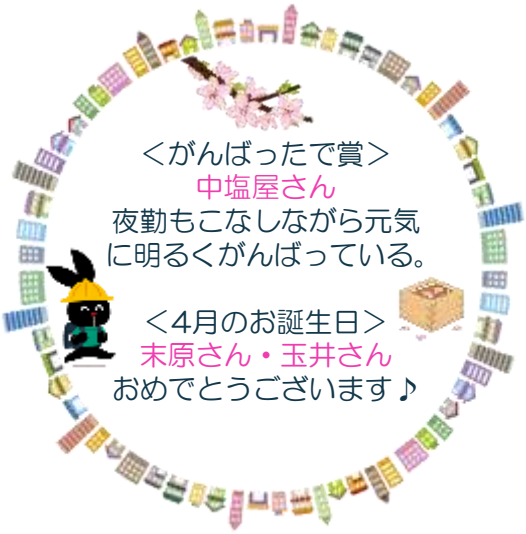
助成金については、宝塚市のHP『雨水貯留施設の助成金制度について』をご覧ください。

株式会社てらす
〒665-0822
宝塚市安倉中5-2-33

TEL：0797-86-3938
FAX：0797-86-7772

HP https://www.terasu-y.co.jp
twitter @yamada_kensetsu
facebook @yamada.kk.jp

発行責任者：寺本　達也
編集担当：総務チーム



<てらもとの上げ潮コーナー>

友人の会社の創業75周年の記念誌が贈られてきた。友人は創業者の想いをしっかり受け継いでいる立派な人だ。その記念誌の挨拶文にブルースリーの言葉で有名な〝BE WATER（水になれ）〟が掲載されていた。「水はカップに注げばカップの形に、ボトルに注げばボトルの形になる。このように水は形を変えて、自由自在に動き、時には破壊的な力を持つ。また一滴の水がやがて大海となる。水の流れのように、型に囚われず、柔軟でいること。これから先、どのような時代に生きようとも、柔軟な考えと行動が求められる」と綴ってあった。今朝、窓を開けると朝月が目に飛び込んできた。太陽の光によって見え方を変化させる月は、まさに〝BE WATER〟やと思った。

そして、月は二つで朋（とも）にもなる。柔軟な考えと行動で今日も明日も頑張りましょう。

今日もみなさん上げ潮だ！上げ潮だ！上げ潮だ！えいえいおー！

✿芸大 卒業制作展✿

2年半前より大阪芸術大学の通信教育で建築を学んできました。そしてこの度、卒業制作において「通信教育部内の学長賞」を受賞することができました。ここまでこられたのは、てらすの社員や寺本社長の応援・家族の支え・先生の指導・一緒に学んだ友人たち…皆様のおかげです。本当にありがとうございました！

卒業制作は地域交流スペースの考案で、敷地の歴史や背景などを取材・調査を実施し、約半年間かけてこのデザインに辿り着きました。その土地の環境と建築物をどのように溶け込ませるか、これは今回テーマであると同時に建築において非常に大切なことだと学びました。

メインの平面図・断面図はA1パネル6枚を使っています。大きなキャンバスで自分の作品を表現できるのは卒業制作ならではだと思います。

総務チーム　後藤

✿工房進行状況✿

弊社の利用価値無限大の山田ベースは、ついに「工房」になります。そこで、設計チームのたまちゃんが改装中の工房を紹介します！

改装前の工房は、天井の色と床の色が喧嘩していて、床には大きな穴も開いていました。また、壁を無理やり剥がしたため、断面のブロックが見えているところもありました。そこで工房をリニューアルするプロジェクトが進行！「かっこいい工房」を目指して、モノトーンを基調とした「見せる工房」を作っていきます。

まずは、弊社の工房改装担当たけちゃんが天井をマットブラックに塗り、また、元々あったクロスを剥がして新しいクロスに貼り替えました。天井やクロスが変わるだけで、一気に雰囲気が変わりました。フローリングは、色味違いの2種類を混ぜて張りました。フローリングを張っていく際は、ベテラン上司まっちゃんがたけちゃんに張り方を伝授！「まったけコンビ」の誕生で、2日でフローリングが完成しました。

現在はこのような進行状況ですが、ここに照明が加わればさらに雰囲気が変わり、新しい工房が完成すると思います。

新たな工房に仕上がるのがとても楽しみです♪

before

after